

男子投てき3種目出場

仁木 星之介(生光)



陸上投てきの名門・生光学園勢で男女通じて初めてハンマー投げ、砲丸投げ、円盤投げの3種目でインターハイに出場した仁木星之介。いずれも予選敗退となり「最後の夏だったので入賞を果たしたかった。自分の力を出し切れなかった」と振り返った。

3日のハンマー投げは1投目で53.45の好記録をマークしたが、2、3投目は力んでしまい無効試技に。予選通過記録(55.6)を越えられなかった。5日の砲丸投げは、1投目で右手親指を負傷するアクシデントに見舞われた。内出血で爪に血がにじみ、痛みをこらえて投げ続けたものの失投を重ねた。7日の円盤投げも

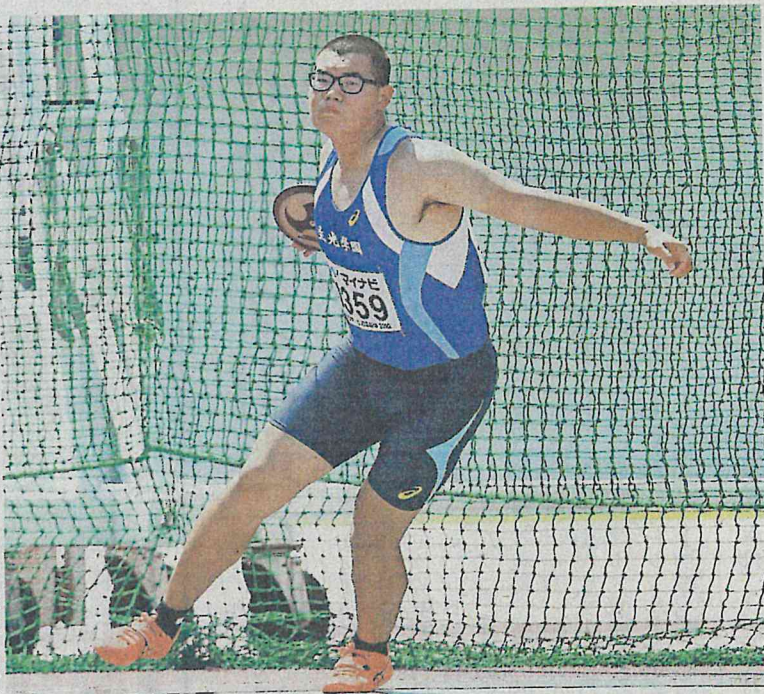
力出し切れず無念の敗退

親指が完治しないまま臨み、3投の試技は自己記録に遠く及ばなかった。高浦中1年時に円盤投げと砲丸投げを始め、高校進学後、ハンマー投げにも取り組んだ。県総体などで3種目に出る生光学園勢は珍しくないが、

インターハイ出場を決めたのは仁木だけ。林監督は「投てきの動作が全く異なるのに吸収力の高さと器用さで補ってきた。黙々と練習してきた成果だ」と評価する。自己記録は3種目とも予選通過ラインを上回っ

ていただけに、悔しさもひとしお。これまでに全国大会での入賞経験がなく、「秋の栃木国体で初入賞を目指す。全国の舞台で活躍できるよう今後も練習に励む」と雪辱を誓った。

(富士佳輝)



円盤投げに挑む生光学園の仁木＝7日、鳴門ポカリスエットスタジアム